

話題あれこれ

厚木市の文化財一般公開

荻野神社真指定重要文化財に

10月31日から11月2日までの3日間「あつぎの文化財一般公開」荻野神社と古民家岸邸」が行われました。

荻野神社はかつては荻野村三村の鎮守でした。自然石を御神体とし、石神社とも呼ばれていました。

本殿は、市指定有形文化財でしたが、今年3月28日、県指定重要文化財に指定されました。県内でも最大規模の社殿であり、建物細部の彫刻も豪華である点が高く評価されたそうです。貞享4年(1687)に飯山村の宮大工集団が建設しました。その内容を示す古文書も多く発見されています。

本殿わきにはイチヨウの古木があります。大樹の周りにひこ生えがびっしり。県内の巨木としても珍しく、市指定天然記念物です。



イチヨウの古木を見上げる栗山議員

文化会館にキッチンカー

11月3日文化の日市内を宣伝しました。トイレ休憩に寄った文化会館で、正面玄関広場のあふれ池の前にキッチンカーが2台。ちょうどいい昼食タイム。たこ焼きやホルモン焼きそば、カップに入った一口フレンチトーストなどをいただきました。秋晴れの中、戸外で食べる解放感。なかなかいいものでした。



文化会館では4階にあったレストランが2回にわたって閉鎖。今はフリースペースとして文化会館利用者が有効に使っています。しかし「食事

をしたい」という要望を受けて文化会館で「キッチンカー」の派遣が実現したそうです。

イベントに合わせるので、毎日ではありません。ご注意ください。

10月29日、大分県中津市で、福

沢諭吉記念館へ向かう寺町の道で見かけた看板。



そうなんです。今、家庭の教育力が低下しているといわれています。保護者が、子どものことをなんでも学校に押し付ける傾向があります。

でも、入学以前にすでに家庭や地域での環境が、その子の習慣や思考をつくっているのです。

『育てたように子は育つ』という本がありますが、教育委員会で勧めている「早寝早起き朝ごはん」だって、家庭の問題じゃないのかな。

行政や学校もできることはたくさんあって大事だけれど、まずは家庭でしようと思っただけ、私だけ？

(栗山香代子)

書籍紹介

会社は労働者と資本家が共にそこで働き、利益を得る場所
経営者・大原孫三郎の思想

今年の夏、研修視察で岡山県に行きました。宿泊したのは倉敷市のアイビススクエアホテル、倉敷紡績の工場をホテルに改修したものです。有名な大原美術館をつかったの



が倉敷紡績の社長であった大原孫三郎です。その生涯を描いたのが城山三郎の「わしの眼は十年先が見える」大原孫三郎の生涯」です。

大原孫三郎が手掛けたのは美術館だけではありません。労働者のために病院を建設し、さらに社会科学研究所、農学科学研究所などをつくり、孤児院への土地や資金の援助も惜しみませんでした。

当時の労働者は「女工哀史」「ああ、野麦峠」でもわかるように劣悪な労働環境で働かされていた。孫三郎が27歳で社長になって最初の年に8万円の増益が出ましたが、役員賞与や株の配当を増やす

のではなく、寄宿舎社宅改装資金に使いました。一部屋に何人も詰め込むのではなく、「家庭的」に居心地良く過ごしてほしいとの思いです。さらに裁縫室、教室も建て、食堂もつくりました。

孫三郎は「会社は資本家が労働者を使う場所ではない。労働者と資本家が共にそこで働き、利益を得る場所である」と考えていたのです。

昨今の大企業は多額の内部留保をためこみながら、労働者の賃金は顧みない経営者が何と多いことでしょう。孫三郎の爪の垢を煎じて飲んでもらいたいものです。

(釘丸久子)

市議会の第6回議会報告会

- | | |
|----------------|--------------------|
| 11月11日(火) 19時~ | 厚木南公民館 (総務企画常任委員会) |
| 11月13日(木) 19時~ | 南毛利公民館 (市民福祉常任委員会) |
| 11月15日(土) 10時~ | 厚木北公民館 (環境教育常任委員会) |
| 11月15日(土) 14時~ | 睦合南公民館 (都市経済常任委員会) |



11月の法律相談

11月19日(水) 13時

前日迄の連絡を!